

地理学会ニュース 2026 年度 第 1 号

法政大学地理学会

2026 年 6 月 20 日発行

2026 年度例会（シンポジウム・巡検）の案内

今年度の例会については、シンポジウム・巡検ともに秋に開催する予定です（シンポジウムは 10 月、巡検は 11 月開催予定）。例会の詳細は本年第 2 号（2026 年 9 月発行予定）ならびにウェブサイトにて案内します。

（集会委員会）

法政大学地理学会定期総会

法政大学地理学会定期総会は、2026 年 5 月 9 日（土）の 11 時より、法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー13階 1300 教室にて開催された。前々英明常任委員長による開会の辞のあと、議長に吉原圭佑会員、書記に中澤慎太郎会員を選出して以下の議題に入った。議題 1～7 については、いずれも常任委員会より提出された原案が承認された。

（出席者 20 名、委任状（葉書・オンラインフォーム）38 名、計 58 名により総会成立）

議事

1. 2025 年度事業報告

前々英明常任委員長より以下の事業報告について報告があり、承認された。

1) 2025 年度定期総会の開催、および 2026 年度定期総会の開催準備

法政大学地理学会 2025 年度定期総会は、2025 年 5 月 10 日（土）に開催し、常任委員会より提出された原案が承認された（出席者 16 名、委任状 35 名、計 51 名）。

定期総会では総合地球環境学研究所名誉教授・

神戸市外国語大学客員教授の長田俊樹氏による講演「インド少数民族ムンダ人の世界」、および 6 題の一般研究発表が行なわれた。

2) 機関誌『法政地理』58 号（2026 年 3 月 20 日刊行）と法政大学地理学会ニュースの発行（年 4 回発行）

・『法政地理』58 号は伊藤達也教授退職記念記事、特別講演、論説 2 編、研究ノート 1 編、特別寄稿 1 編、フォーラム 1 編、文献紹介 4 編などを内容とし、総頁 99 頁であった。

・法政大学地理学会ニュースを以下の通り発行した。

第 1 号 2025 年 6 月 30 日発行

第 2 号 2025 年 10 月 15 日発行

第 3 号 2026 年 1 月 21 日発行

第 4 号 2026 年 3 月 24 日発行

3) 例会について

・2025 年度第 1 回例会

第 1 回例会（シンポジウム）は、「カッパと地域振興」をテーマに、2025 年 11 月 8 日（土）に法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート 4 階 G402 教室にて開催し、26 名が参加した。シンポジウムでは、伊藤達也氏（文学部教授）、高橋寛英氏（兵庫県福崎町地域振興課）、木ノ下素信氏（大分県中津市市議会議員）の 3 氏の報告があった。その後、参加者全員で全体討論を行い、活発なディスカッションが展開された。

・2025 年度第 2 回例会

第 2 回例会（日帰り巡検）は、2025 年 11 月 29 日（土）に「東京の水の道」とのテーマで開催し、12 名が参加した。文京区本郷にある東京都水道歴史館で東京の水道の歴史や技術について学び、その後、神田川にかかる淀橋から西新宿に残る水道史跡をめぐり、新宿東口にある馬水槽、玉川上水路の終点である四谷大木戸にある水道碑記で解散した。

- 4) ウェブサイトの管理・運営
- ・学会開催のイベントごとにウェブサイトにて情報を発信
 - ・ウェブサイトの年度毎の内容更新
 - ・ニュースレターの内容、『法政地理』57号までの内容をPDFにて掲載
 - ・問い合わせページの管理やFacebookとの連携
 - ・学会ウェブサイトのリニューアル

5) 会員名簿の管理

2026年4月1日現在 会員総数 778名

- ・名誉会員：6名
- ・一般会員：251名（院生25名を含む）
- ・学生会員：521名（学部学生451名，通教学生など70名）
- ・2025年度入会者 123名（一般11名（院生6名含む），学生112名（学部学生104名含む））
- ・2025年度退会者 102名（一般4名（院生2名含む），学生98名（学部学生95名含む））
- ・2025年度末除籍者 12名（一般8名（院生0名），学生4名）

6) 「地理学研究奨励金」の授与に関わる事業

2. 2025年度決算報告

一般会計については前々英明常任委員長より，また特別会計については塩谷恭正会計委員より以下の決算報告がなされた。

(1) 一般会計

【収入】	<予算>	<決算>
会費等	1,200,000	1,263,000
出版補助金	150,000	150,000
雑収入	20,000	3,200
前年度繰越金	2,188,201	2,188,201
収入合計	3,558,201	3,604,401

【支出】	<予算>	<決算>
消耗品費	20,000	0
印刷費	1,100,000	775,015
郵送費	20,000	6,504
委員会運営費	100,000	158,474
特別活動援助費	120,000	100,000
支部活動援助費	10,000	0
情報化関連費	6,000	7,305
雑支出（予備費）	30,000	20,661

次年度繰越金	2,152,201	2,536,442
支出合計	3,558,201	3,604,401

(2) 特別会計（積立金）

【収入】	<予算>	<決算>
雑収入	0	5,613
前年度繰越金	4,191,081	4,191,081
収入合計	4,191,081	4,196,694

【支出】	<予算>	<決算>
雑支出	10,000	540
委員会運営費	30,000	0
研究奨励給付金	100,000	220,000
次年度繰越金	4,051,081	3,976,154
支出合計	4,191,081	4,196,694

3. 2025年度監査報告

監査より，「会計は適正に処理されている」とする監査報告があり，上記2の決算報告とともに承認された。

4. 2026年度事業計画案

前々英明常任委員長より以下の事業計画案が提起され，承認された。

- 1) 2026年度定期総会の開催，および2027年度定期総会の開催準備
- 2) 機関誌『法政地理』59号（2027年3月刊行）法政地理学会ニュース（4回発行予定）の発行
- 3) 例会の開催
巡検，シンポジウムの開催
- 4) 学会ウェブサイトおよびfacebookの管理・運営など
- 5) 会員名簿の管理
- 6) 支部活動の援助等
- 7) 「地理学研究奨励金」の授与に関わる事業
- 8) 法政大学地理学会 論文賞の選考と授与
- 9) 学生会員の親睦活動の補助（会員の継続などを依頼）
- 10) 選挙管理委員会の設置と評議員選挙の実施
- 11) その他

5. 2026年度予算案

前々英明常任委員長より以下の予算案が提起され，承認された。

(1) 一般会計	
【収入】	<予算>
会費等	1,200,000
出版補助金	150,000
雑収入	20,000
前年度繰越金	2,536,442
収入合計	3,906,442
【支出】	<予算>
消耗品費	40,000
印刷費	1,300,000
郵送費	20,000
委員会運営費	150,000
特別活動援助費	120,000
支部活動援助費	10,000
情報化関連費	7,000
雑支出	30,000
次年度繰越金	2,229,442
支出合計	3,906,442
(2) 特別会計（積立金）	
【収入】	<予算>
雑収入	0
前年度繰越金	3,976,154
収入合計	3,976,154
【支出】	<予算>
雑支出	10,000
委員会運営費	30,000
研究奨励給付金	200,000
次年度繰越金	3,736,154
支出合計	3,976,154

6. 論文賞ならびに地理学奨励金の授与

1) 2025 年度「法政大学地理学会 論文賞」の授与

中村圭三会長より、以下の受賞者・受賞論文に対して論文賞が授与された。

- ・受賞者：松永朋樹会員
- ・受賞論文：不動産企業による土地の商品的要素の選択および表現方法の分析（『法政地理』57号（2025年3月刊行））



写真1 論文賞受賞の松永朋樹氏

2) 2025 年度「法政大学地理学会 地理学奨励金」の授与

大塚一雄地理学研究奨励金授与選考委員会委員長・副会長より、以下の授与者に対して地理学奨励金が授与された。



写真2 地理学奨励金授与の大久保香穂氏



写真3 地理学奨励金授与の久我谷深太氏

- ・大久保香穂会員（2023 年度 人文科学研究科 地理学専攻修了）
- ・久我谷溪太会員（2023 年度 文学部地理学科 卒業）

7. その他

前杵英明常任委員長より、以下の議事について報告がなされた。

- ・「法政大学地理学会論文賞」選考委員会の設立
『法政地理』58 号に論文賞の候補が 2 編掲載されたので、総会後に選考委員を選出する。

2026 年度評議員会の記録

2026 年度定期総会に先立ち、2026 年 5 月 9 日（土）10 時より、評議員会がボアソナードタワー 12 階の BT1200 教室にて開催された。前杵英明常任委員長（小原丈明庶務委員長の代理）の進行で、2026 年度評議員会議事の説明が行われた。出席者は事前委任状提出者が 7 名、当日の出席者は 9 名であった。

2026 年度定期総会時における 会長講演・一般研究発表

2026 年 5 月 9 日（土）の 2026 年度定期総会の開催に合わせて、法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー 13 階 1300 教室にて、13：30～15：00 に会長講演、15：00～16：45 に一般研究発表が開催され、47 名の参加者がありました。

会長講演と一般研究発表の演者ならびに演題は以下の通りです。

<会長講演>

中村圭三：地理学論文の絵画表現の試み 自著論文を例として

<一般研究発表・口頭>

久我谷溪太：先史・古代鎌倉低地の古地形（予察）

齋藤圭・赤松秀亮：大分県国東半島における水環境史の地理学—河川・地下水研究と歴史景観の接続—

奥野 充・三浦大助・Agung Harijoko・

Indranova Suhendro・Haryo Edi

Wibowo・松尾将紀・生野なつみ・門叶冬樹・南 雅代ほか：インドネシア、テンガー火山の新期カルデラの 14C 年代測定

竹内沙織：萩地域における酒造メーカーと酒米生産者の連携形成過程と役割

加藤美雄：南極オゾンホール縮小と 5 月からの気象警報などの変更—気象庁の最新の動向

（座長：山口隆子）

<一般研究発表・ポスター>

渡邊映乃・岡田知也・小松祐輝・増田駿：湯川における中和事業の変遷

田井嵐・佐藤芽衣・松浦耀平：西の河原公園における地表面温度と気象要素の時間変化に関する観測と分析

垣内祐輝・宇都宮慶・関香音・高村美羽：湯畑の熱気による周辺環境への影響

木川悠斗・呉結菜・上野優太：草津温泉におけるハンセン病の歴史

中村圭三会長による講演は、敬愛大学を定年退職後、ご自身がこれまで発表されてきた地理学、特に気候学や環境問題に関する論文を油絵で絵画表現することについてご紹介いただきま



写真 4 中村圭三会長による講演

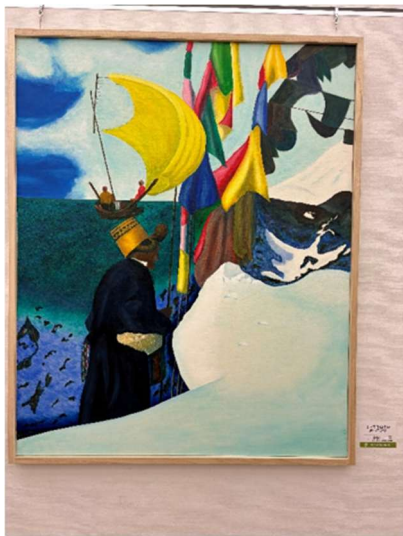


写真5 中村会長の現代美術家協会（第82回現展）入選作品「ヒマラヤ山中風の祈り」
（国立新美術館，2026年5月28日，山口隆子撮影）

した。2022年以降，新聞やテレビ等で度々紹介されており，この度，現代美術家協会〔第82回現展〕に作品が入選されました。本講演では，研究・論文の内容とともに作品紹介がなされ，論文では伝えきれない研究対象の美しさや感動が，絵画を通じて直感的に伝わってきました。絵画表現により，一般市民・学生・行政担当者へも広く理解されるようになるという，まさに第一線の地理学のアウトリーチ活動に触れることができ，有意義な時間となりました。なお，講演内容につきましては，『法政地理』59号（2027年3月刊行）に掲載予定です。また，これまでに出版された書籍は，地理学科事務室書架へ寄贈いただき，現在，配架手続き中ですので，ぜひ，ご覧ください。

一般研究発表は，口頭発表5件，ポスター発表4件がありました。

久我谷氏による考古学研究への地形学からのアプローチ，齋藤氏らによる世界農業遺産と日本遺産に認定された国東半島における地理学的研究，奥野氏らによる東ジャワ州の2つの複合カルデラであるテンガーカルデラでの年代測定，竹内氏による萩地域の酒蔵と酒米生産者との連携状況，加藤氏による気象警報の変更をはじめとした気象庁の最新動向など，幅広い分野から発表がありました。



写真6 久我谷氏による一般研究発表



写真7 齋藤氏ほかによる一般研究発表



写真8 奥野氏ほかによる一般研究発表



写真9 竹内氏による一般研究発表



写真 10 加藤氏による一般研究発表



写真 13 ポスター発表②



写真 11 ポスター発表の様子

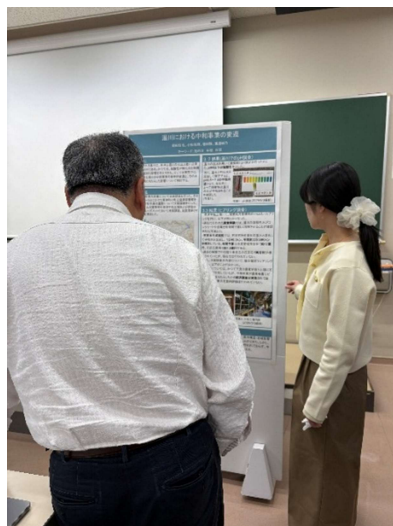


写真 14 ポスター発表③

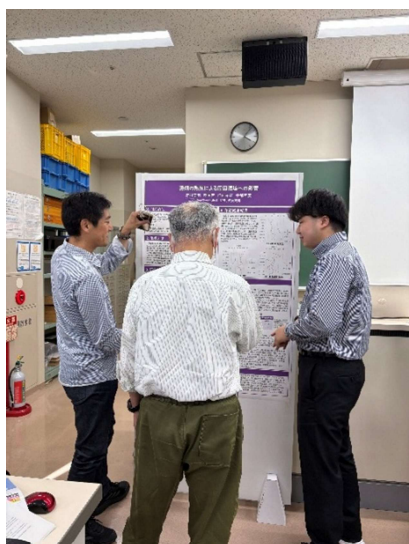


写真 12 ポスター発表①



写真 15 ポスター発表④

ポスター発表は、コロナ以降はじめてであり、企画者として少し不安だったのですが、活発な意見交換がなされており、思い切って再開してよかったと思っております。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

(集会委員会)

地理学教室だより

2026年度の法政大学地理学科は、新たにSSI生5名、留学生1名を含む106名の新入生を迎えました。また、新任教員として甲斐智大准教授（社会経済地理学）が着任されました。

今年度はじめの履修相談会では、例年より早い時間帯から多くの学生が参加し、新入生の前向きな姿勢が感じられました。また、先輩学生が親身になって相談に応じる姿が見られ、学科として心強く感じられました。地理学科には、現地研究や演習など、同学年の仲間だけでなく、先輩・後輩、そして教員ともつながりを深められる機会が多くあります。大学時代に築いた人とのつながりは、将来にわたって大きな財産となるものです。互いに刺激を受けながら学び合い、切磋琢磨して成長していったほしいと願っています。

（地理学科主任・田中雅人）

地理学教室（通信教育部）だより

2018年度に通信教育課程主任として、「近年、通信教育課程の学生数が減少しております。」と書いたのですが、2026年度現在、通信教育課程地理学科の在籍者数は増加傾向にあり、600名以上の方が在籍しています。相変わらず、最も学生数の少ない学科ではありますが、最も有職者の割合が高い学科となっています。

通教生の法政大学地理学会への加入者数も増加傾向にあり、例会等への参加者も通教生ならびに通教卒業生の方が多い傾向です。ぜひ、お知り合いの通教生に、法政大学地理学会への入会をご案内いただければと思います。

（通信教育課程主任・山口隆子）

院・地理学専攻だより

大学院地理学専攻には、久しぶりに8名の新入

生を迎えることができました。内訳は自然地理3名、人文地理5名です。これに国際日本学インスティテュートの留学生2名（人文地理）が加わり、合計10名のフレッシュマンを迎え、昨年より若干賑やかになっております。地理学専攻では近年社会人院生が増加傾向にあり、今年度も3名の社会人が含まれています。大学院を学び直し、スキルアップの場として活用する傾向は今後も強まっていくと思われます。今年度は特に大学院のカリキュラム変更等は予定されておりませんが、大学院に進学する学生のキャリアも、昔のように研究者や教員だけでなく、最近はもっと社会で幅広く活躍できる人材を輩出しております。今後とも会員や卒業生の皆様には、学生への直接・間接のご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。

（大学院地理学専攻主任・前杵英明）

機関誌『法政地理』59号（2027年3月刊行予定）の原稿募集

2027年3月刊行予定の機関誌『法政地理』59号の原稿を募集します。学会員ならば誰でも投稿できます。皆さんからの多くの投稿をお待ちしております。投稿希望者は下記のとおり編集委員会までご連絡ください。原稿の種類は論説、研究ノート、フォーラム、資料解説、文献紹介です。

1. 投稿希望者は**2026年8月末までに**、原稿の種類と予定原稿枚数（400字詰原稿用紙に換算）をメールにて編集委員会までお知らせください。
2. 投稿希望者は**2026年9月末必着**で、当学会の投稿規程に則り、原稿を送付してください。学会ウェブサイトにある投稿フォームに必要事項を記入し、ファイル一式を添付して提出してください。その際、ウェブサイトから投稿したことを編集委員会のアドレスにもご一報ください。また、紙媒体（手書きによる原稿を含む）での提出を希望する場合は、事前に編集委員会までメールでご相談ください。

編集委員会メールアドレス henshu@chiri.info
（編集委員会）

【除籍】12名（5年間会費滞納）

会計委員会より

会費を滞納されている方にお知らせ致します。本会は3年以上滞納されたら会誌等の発送を停止しております。また、滞納期間が5年に達しますと、自動的に除籍する対応を取っております。会費納入状況につきましては、学会から送付される郵便物のラベルシールにてお知らせしておりますのでご確認ください。会員各位におかれましては、住所変更等で学会からの連絡が届かず、結果として会費滞納状態になっている方もいらっしゃると思います。住所変更等がありましたら、かならず学会にお知らせいただきますようお願い致します。また、法政大学文学部地理学科通学課程以外の学生会員は、卒業後は継続して一般会員となります。卒業された学生会員を含め、住所等に変更が生じた場合は、学会ウェブサイトより学会メールか変更フォームを利用してお知らせください。

<<会員動向>>

（2026.2.13～2026.6.3 まで。敬称略、申込順）

【入会】

- ・[一般3名] 竹内沙織（東京）、高崎大介（神奈川）、石塚直樹（栃木）
- ・[一般（院生）7名] 鐘江謙介（東京）、和田向日葵（神奈川）、佐藤領平（東京）、佐野荘真（神奈川）、小林明浩（東京）、西田 颯（東京）、高野美月（埼玉）
- ・[学生（通教）10名] 敦澤 睦（東京）、麻田光太郎（東京）、石黒太祐（静岡）、井本直希（熊本）、三木政英（大阪）、藤中紀孝（東京）、永井貴之（東京）、落合 昇（千葉）、古川暉大（神奈川）、鏑田敏正（東京）

【退会】

- ・[一般1名（年度末）] 道端一起（和歌山）
- ・[学生2名（逝去）] 成田光史（東京）、田辺 智（東京）

法政大学地理学会「地理学研究奨励金」制度について

学会では、創立70周年を記念して「地理学研究奨励金」を設けています。

- 1 審査対象になる論文は、本学学生会員および大学院生が投稿し『法政地理』に掲載された論文です。
- 2 学士論文、修士論文をベースにした場合、学位論文を提出した翌年度までの「法政地理」に投稿・掲載された論文が対象です。
- 3 来年3月に発行予定の『法政地理』59号に投稿・掲載される論文が対象になります。
- 4 論文が審査対象になるためには、地理学研究奨励金授与選考委員会に応募が必要です。
- 5 『法政地理』59号に論文が掲載される予定の論説、研究ノートの執筆者は、ぜひ審査にご応募ください。

問い合わせ、連絡先

法政大学地理学会 副会長

地理学研究奨励金授与選考委員会委員長

大塚一雄 kotsuka415@gmail.com

2026年6月20日発行

編集 法政大学地理学会庶務委員会

発行 法政大学地理学会常任委員会

〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

法政大学文学部地理学教室内

Fax. 03-3264-9459

E-mail hoseichiri@chiri.info

Web <http://www.chiri.info/index.html>

郵便振替 00170-9-167442